

おおつちジオだより

2019年春号～Vol.2～

「おおつちジオだより」発行にあたって

大槌町三陸ジオパーク推進協議会では、大槌町もエリアの一部である「三陸ジオパーク」や町内のジオサイトを紹介します。多くの方にご覧いただくため、「おおつちジオだより」を発行しています。

町内におけるジオパーク活動推進の取組の「今」をお伝えします！！

「おおつちいいね！ Instagramキャンペーン」結果発表！

「ジオサイト部門」も創設！

大槌町及び大槌町三陸ジオパーク推進協議会により実施した、「おおつちいいね！Instagramキャンペーン」の入賞作品をお知らせします。

「みんなに自慢したい！おおつち！」をテーマに、「おおつちPR部門」及び「おおつちジオサイト部門」の2つの部門でキャンペーンを実施いたしました。応募総数163件（142点）の作品から、期間中に多くの「いいね！」を獲得した作品が決定しました。

ジオを身近に感じていただけましたか？入賞作品をはじめ、応募いただいた作品は、町の観光PRに活用させていただきます。

おおつちジオサイト部門の受賞作品

おおつちジオサイト部門（応募ハッシュタグ「#おおつちジオ」

は、平成30年1月以降に撮影した大槌町にある三陸ジオパークのジオサイト（「浪板海岸」、「源水川（湧水）とイトヨ生息地」、「蓬莱島」）に関する写真を募集したものです。ジオサイト部門へは、37件の応募をいただきました。

1位：dajjexiaoliyuan 様

2位：jpjp8845 様

3位：takographer 様



【ジオサイト：浪板海岸】

今回チャレンジで「おおつちいいね！Instagramキャンペーン」に自分の写真を応募しようとおもいました。いいね！の数で評価されるとのこと。もし自分の作品がここに響いたらいいね！よろしくお祈りします。いくつか応募してみますね♪

1回目は朝ヨガのとき早朝の浪板海岸を撮った写真です❀



【ジオサイト：蓬莱島】

大槌町PRイベントのために投稿【岩手県大槌町、ひょうたん島】蓬莱島(通称ひょうたん島)は歩いて渡ることが出来る小さな島です。写真は曇りの日に撮ったので伝わりにくいですが、ひょうたん島周辺の海も海の底まで見える程透明度が高くとても綺麗な場所ですよ。



【ジオサイト：浪板海岸】

太平洋から上がる朝日も素敵ですが、私はこのアングルからの朝日が好きです浪板海岸のカーブと吉里吉里半島さんずる家からのアングル



発行：大槌町三陸ジオパーク推進協議会（事務局：大槌町産業振興部商工観光課）
大槌町のジオサイトの「今」や観光情報等は観光PR公式SNSにて随時発信中！
ぜひフォローをお願いします！



Twitter: @otsuchi_PR



Instagram: @otsuchi_pr

ジオサイト紹介！！②

本コーナーでは、1号につき1箇所ずつ大槌町内のジオサイトと見どころを紹介していきます。第2弾は「源水川とイトヨ生息地」です。

～源水川とイトヨ生息地～

大槌町の中心部である大槌川と小槌川に挟まれた町方地区では、自噴井（じぶんせい）を見ることができます。これは山が海までせまる三陸の地形により、河川が急勾配で海に流れ下り、その過程で上流から浸透した地下水が、高い圧力で流れ下り海水の圧力とも相まって一部が自噴井として湧き出しています。



▲源水川とイトヨ生息地

また表層に近い地下水は源水川の湧き水ともなり、古くから生活用水として使われてきました。これらの湧水は年間を通して水温・水質が一定であることから、県内唯一の淡水型イトヨの生息地となっており、貴重な生態の保護活動が行われています。

ぜひ源水川に実際に足を運び、「イトヨ」を発見してみてくださいね♪

祝！三陸鉄道リアス線開業！



大槌駅はジオサイトである 蓬莱島「ひょうたん島」 がモチーフとなっています！

大槌駅は、平成29年8月に行われた大槌駅デザイン総選挙において、住民の皆さんなどに選ばれた「ひょうたん島」がモチーフとなっており、ひょうたん型の大きな屋根が目目を引くデザインとなっています。

大槌駅観光交流施設としての機能も配置しますので、観光・ジオサイトの案内などは大槌駅内（一社）大槌町観光交流協会にお問い合わせください。
(0193-42-5121)

三陸ジオパークと東日本大震災

これまでいく度となく津波に襲われてきた三陸海岸。被害を大きくしているのは、実はリアス海岸の地形でした。リアス海岸は海面の上昇で陸地の谷が水没してできた地形で、岬と入り江の複雑な海岸線になっています。この海岸のなかでも特にV字型の入り江に入り込んだ津波は、両岸が狭くなるため、波が一層高くなるのです。

長大な防潮堤や湾口防波堤など、津波につながる独特な風景や、碑文にこめられた先人の苦労や願いを語り継ぐ津波記念碑が見られるのも、「三陸ジオパーク」ならではの魅力です。

これからも、三陸ジオパークを通して、東日本大震災津波の経験と自然災害の脅威を、私たちがしっかりと「忘れず」、そして「伝えて」参ります。



▲昨年6月にオープンした大槌町文化交流センター（おしゃっち）では、震災を後世に伝えるための震災伝承展示室を設置しています。

定休日：火曜（火曜が祝日の場合は翌日）
アクセス：三陸鉄道大槌駅から徒歩5分、三陸沿岸道路大槌ICから車で10分